※令和４年度以降入学生

学校番号	2004

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	数学Ｂ（数研出版）						
副教材等	サクシード数学Ⅱ+Ｂ（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・問題集用のノートを用意してください。
・授業では小テストや補充プリントなどを取り入れ、日頃の定着度を測りながら進めます。
・日々の学習に対する復習を行い、問題集を使って理解度を確認するようにしてください。
・問題集用のノートは定期考査ごとに提出してもらいます。
・「なぜそうなるのか」、「別の考え方はないか」など疑問を持つ気持ちを大切にして授業に臨んでください。

２　学習の到達目標

(1) 数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活との関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) 離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。
(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活との関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　数列	第１節　数列とその和 １．数列 ２．等差数列とその和 ３．等比数列とその和 ４．和の記号Σ ５．階差数列 ６．いろいろな数列の和	a:数列の一般項や第ｎ項までの和を求めることができる。 b:事象から離散的な変化を見いだし，それらの変化の規則性を数学的に表現し考察できる。 c:数の並び方に興味をもち，その規則性を発見しようとする意欲がある。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート レポート 振り返りシート
2学期		第２節　数学的帰納法 ７．漸化式と数列 ８．数学的帰納法	a:漸化式の意味を理解して一般項が求められたり，数学的帰納法を用いて命題や式を証明できたりする。 b:事象の再帰的な関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，数列の考えを問題解決に活用できる。 c:確率の問題に漸化式が利用できることに興味，関心をもち，問題解決に利用しようとしたり，数学的帰納法を利用して，いろいろな事柄を積極的に証明しようしたりする。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート レポート 振り返りシート
	第2章　統計的な推測	第１節　確率分布 １．確率変数と確率分布 ２．確率変数の期待値と分散 ３．確率変数の変換 ４．確率変数の和と期待値 ５．独立な確率変数と期待値・分散 ６．二項分布 ７．正規分布	a:確率変数とその分布の意味や確率変数の期待値，分散及び標準偏差が確率分布のどのような特徴を示しているかを理解する。 b:二項分布，正規分布について理解し，日常の事象や社会の事象の考察に活用できる。 c:確率分布に興味をもち，正規分布について積極的に考察しようとする。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート レポート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生

３学期		第２節　統計的な推測 ８．母集団と標本 ９．標本平均とその分布 １０．推定 １１．仮説検定	a:確率の理論を統計に応用し，正規分布を用いた区間推定と仮説検定の方法を利用できる。 b:母集団の特徴や傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりできる。 c:仮説検定によってさまざまな判断ができることに興味をもち，現実の問題の解説に役立てようとする。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度